

地域県土警察常任委員会資料

(令和8年1月21日)

■ 島根県東部を震源とする地震に係る公共土木施設の被災状況について

【技術企画課】……2ページ

■ 島根県東部を震源とする地震に係る漁港の被災について

【港湾課】……4ページ

■ クルーズ客船の寄港について

【港湾課】……5ページ

■ 鳥取港千代地区及び西浜地区の分譲地の公募結果について

【港湾課】……6ページ

■ 山陰近畿自動車道(鳥取～覚寺間)(南北線)の都市計画手続きの状況について

【道路企画課】……7ページ

■ 第2回鳥取県土砂災害警戒情報検討委員会の開催結果について

【治山砂防課】……8ページ

■ 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【技術企画課、道路企画課、道路建設課、河川課、治山砂防課、港湾課】……9ページ

県土整備部

島根県東部を震源とする地震に係る公共土木施設の被災状況について

令和8年1月21日

技術企画課

令和8年1月6日に発生した島根県東部を震源とする地震による公共土木施設(県土整備部関連)の被害と対応状況について報告します。※県ホームページでも公表しています(随時更新)

1 地震後の対応

- 県土整備部に対策本部を設置、震度4以上を観測した所局管内、市町村および国土交通省河川国道事務所から公共土木施設の被害情報を収集。応急対策状況を把握するとともに、機資材の調達確保、関係機関団体への支援要請と調整。さらに、市町村からの技術的な支援要請への対応を実施。
- 地震発生直後(6日11時〜)から公共土木施設の点検を開始し、応急対策により機能確保。
 - ・道路―6日16時までに点検完了。県、国、NEXCO管理区間に被害なし。
伯耆町内の町道2箇所で全面通行止め(町道溝口宇代線:落石、町道上細見3号線:石垣崩落)
 - ・河川、ダム、海岸―7日17時までに点検完了。賀祥ダム上屋窓ガラス等破損。その他県、国管理施設に被害なし。
 - ・港湾・漁港―7日14時までに点検完了。境漁港(県)、渡漁港(市)で被害あり。
その他県、市および境港管理組合の管理施設に被害なし。
 - ・砂防・治山―9日17時までに点検完了。伯耆町宇代で町道災害復旧事業と治山事業による対策を検討。
施設の点検で(一社)鳥取県測量設計業協会から、土砂災害警戒区域の点検で鳥取県土木防災・砂防ボランティア協会からの支援を受けた。
- 伯耆町からの要請を受けて、町道落石現場での有識者との合同調査を実施(9日午前)。
- 点検調査への支援、機資材確保については、関係団体と締結している災害応援協定に基づいて調整。
※平成28年中部地震の際に配布した、家屋修繕に係るブルーシートや土のう、避難場所の仮設トイレ等を、土木インフラの応急復旧にあわせて確保。

2 被害状況と対応方針

これまでの斜面对策や橋梁等への耐震補強、平時からの維持管理によって、緊急輸送を担う道路をはじめ公共土木施設の機能を損なうことなく、被害を最小限に留めることができた。



- ① 境漁港(境港市:県管理)
 - ・岸壁背後の施設が沈下し段差が発生。13日から一部段差解消を図るとともに、災害復旧事業に向けて水産庁と調整中。(詳細は港湾課報告資料参照)。
- ② 渡漁港(境港市:市管理)
 - ・係留施設背後の沈下が発生。対策および対応事業について水産庁を含めて調整。
- ③ 市道旗ヶ崎団地1号線(米子市旗ヶ崎:市管理)
 - ・液状化に伴う土砂噴出と段差の発生。土砂撤去のうえ、目地材充填や常温アスファルトによる段差処理により対応済み。(7日完了)。
- ④ 町道上細見3号線(伯耆町上細見:町管理)
 - ・隣接する石垣が崩落し町道が全面通行止め。町による崩土撤去、大型土のうによる応急的な保護を実施(13日開始)。石垣の復旧は、県と町による住宅再建補助により対応予定。
- ⑤ 町道溝口宇代線(伯耆町宇代:町管理)
 - ・岩崖の崩落に伴い、町道に巨石が落下し通行を分断。
 - ・町からの要請を受け、有識者(鳥取大学工学部 中村公一 准教授)との合同調査を9日に実施し、町道災害復旧事業と県治山事業が連携した対策を検討。
 - ・有識者のコメント
 - ・早急な調査と対策の検討が必要。斜面には多数の落石が残っており、町道は当面通行止めが妥当。
- ⑥ 賀祥ダム(南部町下中谷:県管理)
 - ・ダムゲート上屋の窓ガラスと建物にひび割れ発生。修繕費により対応予定。

3 関係機関団体からの支援状況

- 国土交通省
 - ・鳥取河川国道事務所からリエゾン2名派遣。（6～7日：2日間）
- （一社）鳥取県測量設計業協会
 - ・災害応援協定に基づき、日野管内の砂防・治山施設点検に参画。砂防施設（40 渓流）、急傾斜施設（27 地区）、治山施設（40 施設）。
 - ・協会技術者の迅速な作業に加えて、ドローンなど新技術の活用によって、短期間で点検を完了。（7～9日：3日間）
 - ・町道に落石被害をもたらした崩落した岩崖斜面を調査。
伯耆町宇代：町道溝口宇代線
 - ・強い振動を受けた境水道大橋を点検。
- （一社）鳥取県建設業協会
 - ・土木施設の被災に伴う応急復旧作業（準備）のほか、機資材の備蓄を要請。
 - ・ブルーシート約 3,200 枚、土のう約 76,000 袋を確保。
- 鳥取県土木防災・砂防ボランティア
 - ・日野管内の土砂災害警戒区域点検に参画。（7～9日：3日間）
 - ・土石流（200 箇所）、急傾斜（212 箇所）、地すべり（10 箇所）の全 422 箇所を点検。（伯耆町宇代）



鳥取県測量設計業協会による施設点検



鳥取県測量設計業協会による現地調査



土木防災・砂防ボランティアとの点検打合せ



土木防災・砂防ボランティアの点検の様子



- 鳥取大学
 - ・工学部 中村公一准教授（地盤工学、土質工学）に、斜面調査を要請。（9日午前）
 - ・岩崖斜面と落石および既存の治山施設の現地調査、斜面崩落の機構推定により助言を得た。
 - ・当准教授は、工学部附属地域安全工学センターに所属され、令和5年台風7号災害時の「災害激甚化を踏まえた防災機能向上調査事業」に参画し、災害復旧とその後の復興事業についての的確な助言を受けた。
- （公財）鳥取県建設技術センター
 - ・県および市町村からの要請により、現地調査、応急工事および災害復旧申請への支援体制を準備。
- 他事務所からの職員応援派遣
 - ・震度5強を観測した日野町と江府町にある砂防・治山施設点検のため、他局から職員を応援派遣。
 - ・鳥取および八頭県土整備事務所から各1名（計2名）：道路等の点検調査（7～8日：2日間）
 - ・米子県土整備局から4名：土砂災害警戒区域の点検（8～9日：2日間）



鳥大中村准教授の現地調査

4 災害査定の円滑な執行に係る要望活動

日 時 令和8年1月21日（水）午後3時30分～午後3時40分（国土交通省）、
午後4時～午後4時15分（農林水産省）

要望先 水嶋智 国土交通事務次官、山下雄平 農林水産副大臣

要望者 平井鳥取県知事、伊達境港市長

5 今後の予定

- ・被災を受けた施設の機能回復に向けて、関係機関との調整を行いながら迅速な復旧を進める。
- ・震度5弱以上を観測した地域で、落石の可能性のある道路沿いの斜面点検を実施（20 箇所程度）。
- ・市町村からの技術的支援要請に応じて適切な支援を行う。

参考：今回の地震概要

	発生時刻	震源深	マグニチュード	最大震度
1 回目	10 時 18 分	11 km	M6.4	震度5強：境港市、日野町、江府町
2 回目	10 時 28 分	10 km	M5.1	震度4：米子市、境港市、南部町、日野町、日南町、江府町
〈過去の地震〉				
	震源深	マグニチュード	最大震度	
平成12年西部地震	9 km	M7.3	震度6強：境港市、日野町	
平成28年中部地震	11 km	M6.6	震度6弱：倉吉市、湯梨浜町、北栄町	

島根県東部を震源とする地震に係る漁港の被災について

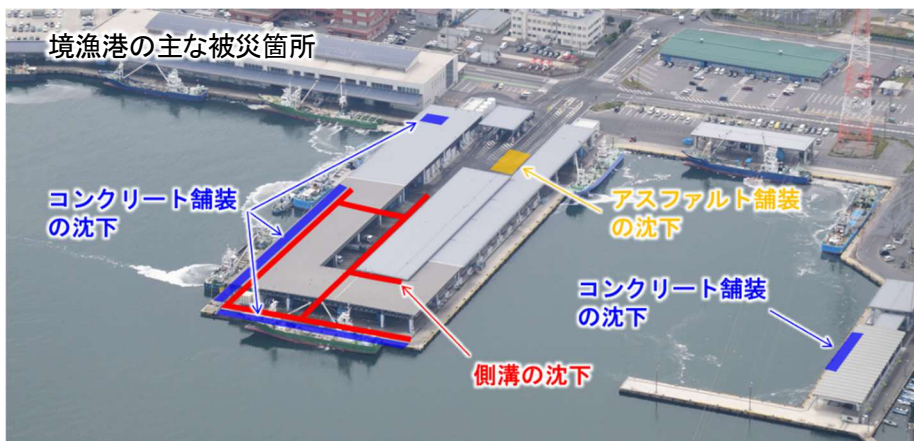
令和8年1月21日
港 湾 課

令和8年1月6日に発生した島根県東部を震源とする地震により被災した境漁港（県管理特定第三種漁港）及び渡漁港（境港市管理第一種漁港）の応急・復旧対応を進めています。

1 被害の概要

（1）境漁港（詳細数量、被害額は調査中）

- ・ 側溝の沈下：延長約300m、沈下約10cm
- ・ 臨港道路アスファルト舗装の沈下：約2,600㎡（25m×80m、15m×40m）、沈下約20cm
- ・ 岸壁コンクリート舗装の沈下：約700㎡（5m×100m、5m×20m、2m×30m）、沈下約10cm
- ・ 上屋の壁面、柱等にひび割れ等が多数発生（上屋は農林水産部が対応）



（2）渡漁港（詳細数量、被害額は調査中）

- ・ 係留施設背後の沈下：延長約60m

2 被災直後の対応

- ・ 発災後、即時に水産庁と災害復旧・応急復旧に向けた連絡調整を行うとともに、三角コーン設置等による利用制限措置を実施（境漁港・渡漁港）
- ・ 8日午後から県と市で現地の詳細調査・点検を実施（境漁港・渡漁港）
- ・ 専決予算成立後、災害時応援協定に基づき、即時に（一社）鳥取県測量設計業協会と復旧に向けた協議を開始（境漁港）
- ・ 9日午後から水産庁総括災害査定官が来県し、被災状況を調査し、災害申請に向けた技術的な助言（境漁港・渡漁港）
- ・ 9日夕方に水産庁総括災害査定官と知事、境港市長が被災現場で立会し、支援を要請（境漁港）
- ・ 13日から水揚げ作業に支障とならないよう調整しながら応急対策に着手



3 今後の対応

- ・ 境漁港について、早期復旧に向けて引き続き水産庁と綿密に協議調整を行いながら、迅速かつ円滑に災害復旧事業の申請を行う。
- ・ 渡漁港について、境港市が迅速かつ円滑に災害復旧事業の申請が行えるよう、災害査定の流れや復旧方針・工法の助言など災害査定に向けた技術的な支援を行う。

クルーズ客船の寄港について

令和8年1月21日
港 湾 課

鳥取港及び境港における令和8年のクルーズ客船の寄港予定が決まりました。

1 鳥取港への寄港予定

- ・ 現時点で3回の予約があり、うち2回が令和7年11月に3万トン級として初めて寄港した三井オーシャンフジ、うち1回が令和8年9月に就航を開始する三井オーシャンサクラとなっている。
- ・ 5月30日寄港の三井オーシャンフジは、鳥取港においては初めてのファーストポート(海外の港湾から最初に寄港する国内の港湾となり、税関、出入国管理、検疫などの手続きが必要)となっている。

令和7年11月13日「三井オーシャンフジ」初寄港



<鳥取港の令和8年の予約状況(1月時点)>

初	船 名	船 社 名	回数	総トン数	乗客定員	主な国籍
	三井オーシャンフジ	商船三井クルーズ	2	32,477	458	日本
○	三井オーシャンサクラ	商船三井クルーズ	1	32,477	458	日本

2 境港への寄港予定

- ・ 現時点で過去最高に並ぶ61回の予約があり、うち欧米船を中心に初寄港が8回となっている。
- ・ 新型コロナウイルス感染症以降、令和5年の国際クルーズの再開後は寄港回数が堅調に回復している。
(R4年:4回、R5年:28回、R6:31回、R7:47回、R8年:61回予約)
- ・ 令和8年2月26日の「レガッタ」の初寄港を皮切りにクルーズシーズンが開幕する。

令和7年10月25日「飛鳥Ⅲ」初寄港



<境港の令和8年の予約状況(1月時点)>

※令和7年7月20日 新規就航

初	船 名	船 社 名	回数	総トン数	乗客定員	主な国籍
○	レガッタ	オーシャニア・クルーズ	1	30,277	684	欧米
	イースタン・ビーナス	イースタンクルーズ	1	26,518	532	韓国
	アザマラ・パシュート	アザマラ	5	30,277	702	欧米
	ル・ジャック・カルティエ	ポナン	2	9,988	184	欧米
○	シーボーン・アンコール	シーボーン・クルーズ	4	41,865	600	欧米
	ウェステルダム	ホーランド・アメリカ・ライン	2	82,350	1,964	欧米
	ル・ソレアル	ポナン	4	10,992	264	欧米
	ダイヤモンド・プリンセス	プリンセス・クルーズ	7	115,906	2,706	日本/欧米
	ヘリテージ・アドベンチャラー	ヘリテージ・エクスペディション	7	8,445	140	欧米
○	アイランド・スカイ	ノーブル・カレドニア	6	4,200	118	欧米
○	クリスタル・シンフォニー	クリスタル・クルーズ	2	51,044	606	欧米
	コスタ・セレーナ	コスタ・クルーズ	2	114,261	2,930	日本
	ミネルバ	スワン・ヘレニック	3	12,500	350	欧米
	ハンセアティック・インスピレーション	ハパグロイド・クルーズ	1	15,651	230	欧米
○	ヴィラ・ヴィ・オデッセイ	ヴィラ・ヴィ・レジデンス	1	24,344	650	欧米
	三井オーシャンフジ	商船三井クルーズ	3	32,477	458	日本
	飛鳥Ⅱ	郵船クルーズ	1	50,444	872	日本
	スペクトラム・オブ・ザ・シーズ	ロイヤル・カリビアン・インターナショナル	2	169,379	4,246	中国
	ナショナル・シグナフィック・レリクション	リンドグッド・エクスペディションズ	2	12,786	138	欧米
	ザ・ワールド	ザ・ワールド	1	43,188	330	欧米
○	三井オーシャンサクラ	商船三井クルーズ	1	32,477	458	日本
○	ノルウェー・ジャン・ジェイド	ノルウェー・ジャン・クルーズライン	2	93,558	2,402	欧米
○	アドラ・マジック・シティー	アドラ・マジック・シティー	1	136,201	4,250	中国
	合 計		61			

鳥取港千代地区及び西浜地区の分譲地の公募結果について

令和8年1月21日
港 湾 課

鳥取港千代地区及び西浜地区の分譲地の購入希望者を公募した結果、千代地区7区画のうち1区画について1者から応募があり、有識者による審査の結果を踏まえ、下記のとおり、公有財産売買契約を締結しました。

1 契約地

- (1) 所在地：鳥取市港町13番15
- (2) 面積：1,222 m²
- (3) 契約日：令和8年1月7日
- (4) 契約金額：8,187,400 円

2 契約の相手方

鳥取市河原町佐貫109番地1
日中東北物産有限会社 代表取締役 近藤 賢市



3 評価基準等

(1) 評価基準等

評価項目	配点	委員平均点	評価結果
鳥取港の荷役利用の実績及び予定	12点	28点／36点	分譲地を購入する者として適当であると評価された。
本県の産業振興への寄与	9点		
購入理由等の妥当性	6点		
環境への配慮	6点		
新規正規雇用の創出	3点		

(2) 評価者

氏名	所属
裕見 吉晴	国立大学法人鳥取大学 工学部 名誉教授
馬場 芳	国立大学法人鳥取大学 地域学部地域学科 准教授
山根 陽一	鳥取市都市整備部 部長
吉野 睦	鳥取県県土整備部 部長

4 今後の予定

鳥取港を利用して貨物を取り扱う企業から、物流の動向を聴取しながら、残りの土地の分譲実施を検討していく。

山陰近畿自動車道（鳥取～覚寺間）（南北線）の都市計画手続きの状況について

令和8年1月21日
道路企画課

山陰近畿自動車道（鳥取～覚寺間）（南北線）の都市計画法に基づく都市計画案の縦覧を令和8年2月10日（火）～2月24日（火）に実施する予定です。

■都市計画案の縦覧

山陰近畿自動車道（鳥取～覚寺間）（南北線）の都市計画手続きを進めてきたところですが、住民の皆様からの都市計画素案に対する様々な意見に丁寧に対応していく必要があると判断し、都市計画案の縦覧を延期して住民の皆様との話し合いを続けてきました。

この度、住民の皆様との話し合いにより一定の方向性が定まったため、都市計画案の縦覧を実施します。

今後都市計画手続きを進めるにあたり、縦覧期間中に提出された意見書についても丁寧に対応して参ります。

■縦覧方法

都市計画案の公告・縦覧を実施することについて、とっとり市報「2月号」（1月末から各戸配布開始予定）や県・市ホームページで周知

・縦覧場所及び意見書の提出場所

鳥取県生活環境部くらしの安心局まちづくり課（鳥取県庁本庁舎7階）

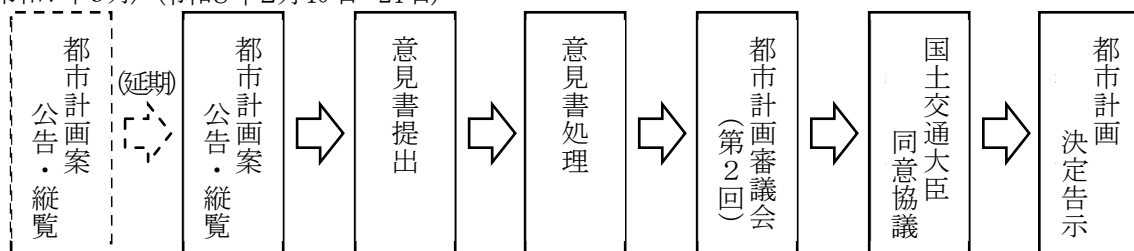
鳥取市都市整備部都市企画課（鳥取市役所本庁舎5階）

県・市ホームページ（メールでの意見書提出も可能）

■今後の手続き（予定）

都市計画案の縦覧後は、縦覧期間中にいただいた意見に対する処理を取りまとめ、都市計画審議会（第2回）に諮り、その後国土交通大臣協議を経て都市計画決定となります。

(令和7年9月) (令和8年2月10日～24日)



〔参考：これまでの経緯〕

平成28年度～令和元年度
令和元年度～令和2年度
令和2年6月8日
令和2年8月8日
令和2年8月～10月
令和2年9月～10月
令和2年10月30日
令和7年5月1日
令和7年7月9日
令和7年9月12日～26日

計画段階評価（国）＜ルート帯案の選定＞
都市計画素案の作成（国）＜具体のルート案の作成＞
国が都市計画素案を県に提出
県が都市計画素案を公表（都市計画決定手続きに着手）
パブリックコメントの実施 ＜意見数125件（72名）＞
説明会の開催（大規模説明会1回、地区説明会11回、事業所説明会1回）
公聴会の開催 ＜公述者6名＞
パブリックコメント、公聴会意見への回答をホームページ上で公表
都市計画審議会（第1回）
都市計画案の縦覧 → 延期

第2回鳥取県土砂災害警戒情報検討委員会の開催結果について

令和8年1月21日

治山砂防課

近年、台風や集中豪雨などにより、全国各地で土砂災害による甚大な被害が発生しています。避難指示等の発令や自主避難を支援し、土砂災害発生から住民の生命を守るため、平成20年2月から鳥取県と鳥取地方気象台が共同で「土砂災害警戒情報」を発表しています。

土砂災害警戒情報の精度向上を目的に、運用状況の検証及び近年の土砂災害や降雨特性を踏まえた発表基準の見直し等の検討を行うこととし、第2回委員会を书面開催しました。(第1回委員会:令和7年8月1日(金))

1 開催結果(書面開催)

(1) 構成員

氏名	役職等
三輪 浩 / みわ ひろし	鳥取大学学術研究院工学系部門教授
中村 公一 / なかむら こういち	鳥取大学工学部准教授
瀧口 茂隆 / たきぐち しげたか	国土交通省国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部土砂災害研究室長
鈴木 和男 / すずき かずお	気象庁鳥取地方気象台防災管理官
菅野 秀治 / すがの ひではる	国土交通省中国地方整備局日野川河川事務所長
山川 泰成 / やまかわ やすなり	鳥取市危機管理部長
山口 圭一 / やまぐち けいいち	三朝町総務課参事
浜田 定則 / はまだ さだのり	鳥取県危機管理部長
吉野 睦 / よしの まこと	鳥取県県土整備部長

(2) 検討の概要

令和6年6月に運用開始した現行の土砂災害発生危険基準線(CL)を見直すため、以下の検討を行った。

- ・土壌雨量指数下限値の設定 空振り(土砂災害警戒情報が発表されても災害が発生しない場合)を減らすため
- ・見直しCLの検証

見直しCLでは、土砂災害警戒情報の空振り回数が、県内全体で現行より年あたり0.69回減少した。

(過去18年(2006~2024)から年当りの平均値を算出)

このうち、土砂災害警戒情報の発表区域ごとでは、10区域(県全体で18区域)で減少した。

※空振り回数が減少した区域は、以下の下線の区域(それ以外の区域でも大きな増加なし)

鳥取市北部、鳥取市南部、米子市、倉吉市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町

(3) 主な意見

- ・土砂災害警戒情報の空振りを減らす検証を引き続き行い、CLの精度向上に努めること。
- ・災害発生メッシュでは、過去に災害が発生した際の雨量等を基に設定されていることから、CLの値が安全側となっており、災害発生メッシュと非発生メッシュでCLの値や土砂災害警戒情報の発表頻度に極端な差がないか、今後の運用で検証していくこと。
- ・CLの精度向上のため、可能な限り信頼性の高い災害情報が必要となる。普段から出先機関や市町村と連携を図り、災害情報の収集に努めること。

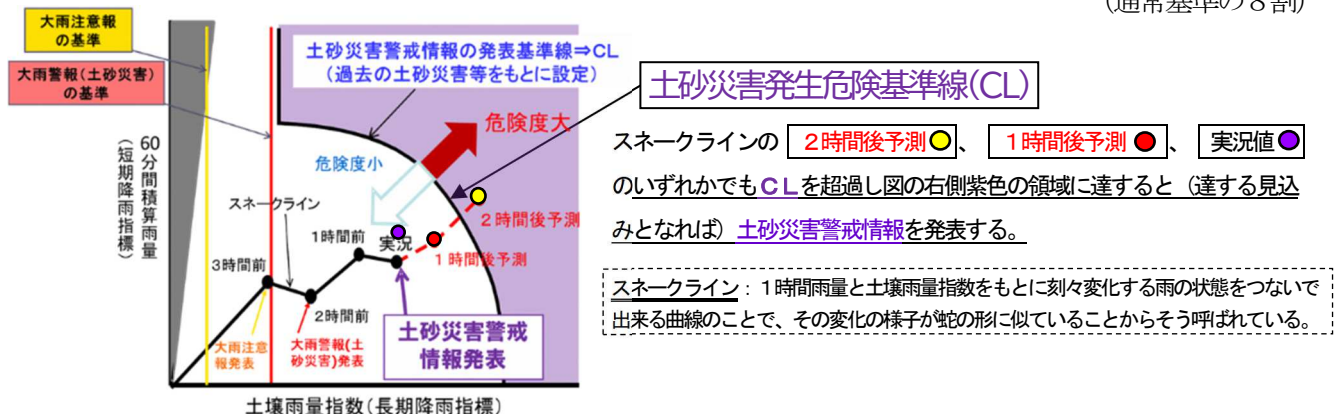
2 今後の予定

- ・今回委員会で検討事項の承認が得られたことから、令和8年5月頃から見直しCLの運用を開始する。
- ・第1回委員会を含めて、いただいた意見については、次回見直しに向けて検証を行う。

(次回は令和10年度頃見込み)

(参考) 令和8年1月6日に発生した鳥根県東部を震源とする地震による地盤のゆるみを考慮し、震度5強を観測した日野町、江府町では、同日から当面の間、土砂災害警戒情報基準の引き下げを行う。

(通常基準の8割)



一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】			県土整備部				
主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契約年月日	入札方式
道路建設課 〔西部総合事務所〕 〔米子県土整備局〕	県道赤松淀江線(西尾原 ～富繁工区)改良工事(4 工区)(防災安全交付金)	米子市 淀江町 福頼	平井工業株式会社 代表取締役 平井 圭一	121,385,000円	令和7年12月23日	令和7年12月22日	制限付 一般競争入札 (6社)
				(予定価格) 131,479,700円	～ 令和8年9月24日		
河川課 〔八頭県土 整備事務所〕	私都川(延命寺工区)河 川災害関連工事(8工区)	八頭郡 八頭町 別府	株式会社中田組 代表取締役 中田 秀樹	92,510,000円 (予定価格) 100,720,400円	令和7年12月19日 ～ 令和8年3月16日	令和7年12月19日	制限付 一般競争入札 (19社)

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

主 務 課		工 事 名	工 事 場 所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日	変 更 理 由
技術企画課 〔 鳥取県土 整備事務所 〕	春谷川砂防災害復旧工 事(R5年災335号、336号 及び337号)	鳥取市 佐治町 春谷	北村屋木材株式会社 代表取締役 有田 繁博	(当初契約額) 143,990,000円	令和6年9月9日 ～ 令和7年3月14日	(当初契約年月日) 令和6年9月9日	-	
					(変更後工期) 令和7年6月10日	(第1回変更契約年月日) 令和7年3月11日	資材の確保に時間を要したことによる工期の延伸	
					(変更後工期) 令和7年12月25日	第2回変更契約年月日) 令和7年6月9日	地元調整の結果、農繁期を避けた施工を行うこととなったことによる工期の延伸	
				(第3回変更後契約額) 143,053,900円 (変更額) 〔 △936,100円〕	(変更後工期) 令和8年3月16日	(第3回変更契約年月日) 令和7年12月22日	支持地盤が高く出た為、ブルック積の面積が減ったことによる工事費の減及び関連工事との工程調整による工期の延伸	
技術企画課 〔 鳥取県土 整備事務所 〕	荒舟川砂防災害復旧工 事(R5年災324号(2工 区))	鳥取市 国府町 荒舟	有限会社プロジェクト 代表取締役 岡田 竜美	(当初契約額) 181,170,000円	令和7年2月25日 ～ 令和8年1月5日	(当初契約年月日) 令和7年2月25日	-	
				(第1回変更後契約額) 207,858,200円 (変更額) 〔 26,688,200円〕	(変更後工期) 令和8年3月25日	(第1回変更契約年月日) 令和7年12月12日	・工程調整の結果、建設残土の他工事流用が不可となり、残土処分したことによる工事費の増 ・掘削土砂に多くの転石が混入していたため、転石破碎に不測の日数を要したことによる工期の延伸	

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】		県土整備部					
主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日	変 更 理 由
技術企画課 〔 鳥取県土 整備事務所 〕	名馬谷川外砂防災害復 旧工事(R5年災302号、 327号及び338号)	鳥取市 佐治町 尾際外	株式会社栗山組 代表取締役社長 栗山 和大	(当初契約額) 114,400,000円	令和7年3月28日 ～ 令和7年12月12日	(当初契約年月日) 令和7年1月17日	-
				(第1回変更後契約額) 123,555,300円 〔 (変更額) 9,155,300円 〕		(第1回変更契約年月日) 令和7年12月10日	ブロックの資材不足により大 型ブロックに変更したこと等 による工事費の増
技術企画課 〔 八頭県土 整備事務所 〕	県道岩美八東線道路災 害復旧工事(5年災407号 及び408号)	八頭郡 八頭町 落岩	株式会社谷口工務店 代表取締役 谷口 洋一	(当初契約額) 122,870,000円	令和6年6月18日 ～ 令和7年2月25日	(当初契約年月日) 令和6年6月18日	-
					(変更後工期) 令和7年3月25日	(第1回変更契約年月日) 令和7年2月25日	工事中進入路が他工事と重 複し、調整を行ったことによ る工期の延伸
					(変更後工期) 令和7年8月22日	(第2回変更契約年月日) 令和7年3月25日	融雪による水位上昇により 河川内作業を一時見送った ことによる工期の延伸
					(変更後工期) 令和7年10月31日	(第3回変更契約年月日) 令和7年8月20日	関連工事との工程調整によ る工期の延伸
					(変更後工期) 令和7年12月5日	(第4回変更契約年月日) 令和7年10月30日	既存施設との取付けの調整 に時間を要したことによる工 期の延伸
			(第5回変更後契約額) 124,099,800円 〔 (変更額) 1,229,800円 〕		(第5回変更契約年月日) 令和7年12月4日	復旧する護岸背面の地山土 質が想定より悪く、掘削勾配 を変更したことによる土量等 の増加に伴う工事費の増	

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】		主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日	変 更 理 由
技術企画課 〔中部総合事務所〕 〔県土整備局〕	加茂川河川災害復旧工 事(5年災293号)	東伯郡 三朝町 福田	株式会社晃進 代表取締役 中口 雄志郎	(当初契約額) 168,300,000円	令和6年8月20日 ～ 令和7年3月14日	(当初契約年月日) 令和6年8月20日	-	三朝町教育委員会との協議の結果、着手前にオオサンショウウオ生息調査が必要となったこと等による工期の延伸	
				(変更後工期) 令和7年9月1日	(第1回変更契約年月日) 令和7年3月11日				
				(第2回変更後契約額) 169,594,700円 〔(変更額) 1,294,700円〕	(変更後工期) 令和7年12月26日	(第2回変更契約年月日) 令和7年8月8日	・ICT活用工事(受注者希望型)の実施等による工事費の増 ・他工事流用土受入れの調整等による工期の延伸		
				(第3回変更後契約額) 173,408,400円 〔(変更額) 3,813,700円〕		(第3回変更契約年月日) 令和7年12月12日	根継工の施工において、大雨による河床の洗掘に伴い、中詰コンクリートの打設量が増加したことによる工事費の増		
道路企画課 〔鳥取県土 整備事務所〕	県道鳥取鹿野倉古線(古 海1号橋)橋梁補修工事 (2工区)(補助橋補修) (国補正)	鳥取市 古海	やまこう建設株式会社 代表取締役社長 鶴石 健治	(当初契約額) 140,800,000円	令和7年3月14日 ～ 令和7年12月25日	(当初契約年月日) 令和7年3月14日	-	鉄筋探査等詳細調査の結果、使用材料の数量を変更したこと等による工事費の増	
				(第1回変更後契約額) 151,875,900円 〔(変更額) 11,075,900円〕		(第1回変更契約年月日) 令和7年12月10日			

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】		県土整備部					
主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日	変 更 理 由
道路建設課 〔鳥取県土 整備事務所〕	県道鳥取鹿野倉吉線(高 住～良田工区)改良工事 (13工区)(交付金改良) (国補正)	鳥取市 良田	大和建設株式会社 取締役社長 影井 一清	(当初契約額) 84,700,000円	令和7年3月27日 ～ 令和7年12月1日	(当初契約年月日) 令和7年3月27日	-
					(変更後工期) 令和7年12月26日	(第1回変更契約年月日) 令和7年11月7日	調査ボーリング結果による 杭長等の検討及びそれに伴 う資材調達に不測の日数を 要したことによる工期の延伸
				(第2回変更後契約額) 110,434,500円 〔(変更額) 25,734,500円〕		(第2回変更契約年月日) 令和7年12月24日	杭長及び建込工法を変更し たこと等による工事費の増
道路建設課 〔八頭県土 整備事務所〕	国道373号(福原工区)改 良工事(1工区)(交付金 改良)(国補正)	八頭郡 智頭町 福原	こおげ建設株式会社 代表取締役 山根 敏樹	(当初契約額) 88,550,000円	令和7年4月7日 ～ 令和7年12月3日	(当初契約年月日) 令和7年3月21日	-
				(第1回変更後契約額) 108,871,400円 〔(変更額) 20,321,400円〕		(第1回変更契約年月日) 令和7年12月2日	杭長及び建込工法を変更し たこと等による工事費の増
道路建設課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	国道179号(はわいバイ パス)改良工事(5工区) (補助改良)(国補正)	東伯郡 湯梨浜町 田後	打吹建設株式会社 代表取締役 小谷 裕司	(当初契約額) 145,310,000円	令和7年2月26日 ～ 令和7年12月11日	(当初契約年月日) 令和7年2月26日	-
					(変更後工期) 令和8年1月30日	(第1回変更契約年月日) 令和7年12月3日	町との上下水道移転の調整 に伴う工期の延伸

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】		県土整備部					
主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契約年月日	変更理由
道路建設課 (中部総合事務所 県土整備局)	国道313号(倉吉関金道 路)改良工事(石塚工区 外)(52工区)(補助改良) (国補正)	倉吉市 石塚外	株式会社重道組 代表取締役 重道 利恵子	(当初契約額) 105,600,000円	令和7年4月15日 ～ 令和7年12月15日	(当初契約年月日) 令和7年3月24日	-
					(変更後工期) 令和8年1月26日	(第1回変更契約年月日) 令和7年12月3日	地盤支持力が不足しており、 対策工法を検討したことに伴 う工期の延伸
道路建設課 (西部総合事務所 米子県土整備局)	県道大滝白水線(大坂工 区)改良工事(8工区)(防 災安全交付金)(国補正)	西伯郡 伯耆町 大瀧	株式会社エイ・エイチ・エイ 代表取締役 幡原 淳	(当初契約額) 136,950,000円	令和7年2月28日 ～ 令和7年12月11日	(当初契約年月日) 令和7年2月27日	-
				(第1回変更後契約額) 138,237,000円 (変更額) 1,287,000円		(第1回変更契約年月日) 令和7年12月5日	ICT活用工事による機械経 費の増額等による工事費の 増
道路建設課 (西部総合事務所 米子県土整備局)	街路両三柳中央線改良 工事(18工区)(補助)(国 補正)	米子市 両三柳	株式会社みたこ土建 代表取締役 美田 耕一郎	(当初契約額) 180,400,000円	令和7年3月10日 ～ 令和8年1月9日	(当初契約年月日) 令和7年3月7日	-
				(第1回変更後契約額) 184,903,400円 (変更額) 4,503,400円	(変更後工期) 令和8年3月16日	(第1回変更契約年月日) 令和7年12月18日	・側溝工について、設置箇所 を見直したこと等による工事 費の増 ・地下埋設物管理者との調 整に時間を要したことによる 工期の延伸

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】		県土整備部					
主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日	変 更 理 由
河川課 〔 鳥取県土 整備事務所 〕	塩見川広域河川改修工 事(13工区)(国補正)	鳥取市 福部町 細川	大和建設株式会社 取締役社長 影井 一清	(当初契約額) 170,060,000円	令和7年2月17日 ～ 令和7年12月23日	(当初契約年月日) 令和7年2月14日	-
				(第1回変更後契約額) 183,247,900円 (変更額) 〔 13,187,900円 〕	(変更後工期) 令和8年1月30日	(第1回変更契約年月日) 令和7年12月19日	・他工区との調整により矢板 施工を追加したことによる工 事費の増 ・上記に伴う工期の延伸
治山砂防課 〔 鳥取県土 整備事務所 〕	北村地区災害関連緊急 治山工事	鳥取市 河原町 北村	株式会社大晃工業 代表取締役 高田 重利	(当初契約額) 168,520,000円	令和6年9月11日 ～ 令和7年3月24日	(当初契約年月日) 令和6年9月11日	-
					(変更後工期) 令和8年1月30日	(第1回変更契約年月日) 令和7年3月21日	他工事との工事関係車両の 通行調整に伴い、コンクリー トの日当たり打設量を減少し たことによる工期の延伸
治山砂防課 〔 鳥取県土 整備事務所 〕	見生寺谷川砂防工事(堰 堤工)(2工区)(国補正)	鳥取市 青谷町 紙屋	大和建設株式会社 取締役社長 影井 一清	(第2回変更後契約額) 203,105,100円 (変更額) 〔 34,585,100円 〕	(変更後工期) 令和8年3月25日	(第2回変更契約年月日) 令和7年12月3日	・掘削面からの湧水に伴い、 斜面崩落抑制対策を追加実 施したことによる工事費の増 ・上記に伴う工期の延伸
				(当初契約額) 121,990,000円	令和7年3月31日 ～ 令和8年1月5日	(当初契約年月日) 令和7年3月28日	-
治山砂防課 〔 鳥取県土 整備事務所 〕					(変更後工期) 令和8年3月27日	(第1回変更契約年月日) 令和7年12月23日	他工事との工程調整により 建設残土の受入時期が遅延 したことによる工期の延伸

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】		県土整備部					
主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日	変 更 理 由
治山砂防課 〔八頭県土 整備事務所〕	櫛谷川通常砂防工事(交 付金)	八頭郡 智頭町 智頭	中一建設株式会社 代表取締役 中尾 仁	(当初契約額) 87,450,000円	令和7年4月21日 ～ 令和7年12月22日	(当初契約年月日) 令和7年3月5日	-
				(第1回変更後契約額) 101,503,600円 (変更額) 〔 14,053,600円 〕	(変更後工期) 令和8年3月13日	(第1回変更契約年月日) 令和7年12月22日	・伐木量が当初想定より増え たこと等による工事費の増 ・上記の伐木量増に伴う工 程見直しによる工期の延伸
治山砂防課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	坂本地区復旧治山工事 (2工区)(国補正)	東伯郡 三朝町 坂本	株式会社高野組 代表取締役 高力 久美	(当初契約額) 71,500,000円	令和7年4月1日 ～ 令和7年12月10日	(当初契約年月日) 令和7年3月14日	-
				(第1回変更後契約額) 103,075,500円 (変更額) 〔 31,575,500円 〕	(変更後工期) 令和8年3月13日	(第1回変更契約年月日) 令和7年12月4日	・ICT活用工事(受注者希望 型)の実施等による工事費 の増 ・借地箇所(工事用道路)の 復旧方法について地権者と の調整に期間を要したこと等 による工期の延伸

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日	変 更 理 由
港 湾 課 (中部総合事務所) (県土整備局)	泊漁港機能保全工事(第3西防波堤)(3工区)(国補正)外	東伯郡 湯梨浜町 泊	株式会社井木組 代表取締役 井木 敏晴	(当初契約額) 125,400,000円	令和7年4月1日 ～ 令和7年11月5日	(当初契約年月日) 令和7年3月14日	-
				(第1回変更後契約額) 134,484,900円 (変更額) 9,084,900円	(変更後工期) 令和7年12月5日	(第1回変更契約年月日) 令和7年10月29日	次期工事の施工を考慮し、工事区間を追加したことによる本工事費の増及び工期の延伸
				(第2回変更後契約額) 134,989,800円 (変更額) 504,900円		(第2回変更契約年月日) 令和7年12月2日	猛暑に伴う真夏日作業日を補正したことによる工事費の増